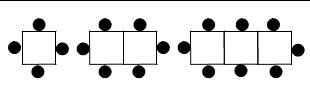


本 時 案 ( 第 一 次 3 / 3 )

- 1 主 眼 テーブルの形を変えたときのテーブルといすの数を調べる活動を通して、2量の関係を見つけて式に表し、問題を解決することができる。
- 2 準 備 平行四辺形 正五角形 正六角形 ドット(提示用) おはじき 色板(平行四辺形・正五角形・正六角形)
- 3 学習の展開

過程	学習活動・学習内容	留 意 点・支 援									
		T 1	T 2								
意 欲 づ く  5分	1 テーブルが正方形の場合を思い出す。 □ 正方形のテーブルにいすを並べます。テーブルは横につなぎ、数を増やしていきます。テーブルといすの数の関係を調べましょう。ただし、1つの辺には1つのいすをおきます。 $2 \times \quad + 2 =$ $(\text{テーブルが1増えた時に増えるいすの数}) \times (\text{テーブルの数}) + (\text{両端のいすの数}) = (\text{いすの数})$		児童の様子を観察する。								
	2 テーブルの形を選択し、関係を予想する。 ・平行四辺形 ・正五角形 ・正六角形			正方形のテーブルといすの数の関係を表した式を想起させ課題を確認する。  調べたい図形を選択させる。	課題の理解できていない児童、図形選択で悩んでいる児童の個別指導を行う。						
見 通 す  5分	3 形が変わっても、テーブルといすの数の関係が同じであることを調べる。 <正六角形の場合> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">テーブルの数</td> <td style="padding: 2px;">1</td> <td style="padding: 2px;">2</td> <td style="padding: 2px;">3</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">いすの数</td> <td style="padding: 2px;">6</td> <td style="padding: 2px;">10</td> <td style="padding: 2px;">14</td> </tr> </table> $\underbrace{\quad\quad\quad}_4 \quad \underbrace{\quad\quad\quad}_4$	テーブルの数	1	2	3	いすの数	6	10	14	色板とおはじきを使ってよいこと、1つの形を調べ終わったら、別の形について調べたことを告げる。	個別指導を行うとともに、意図的指名を行う児童をチェックする。
	テーブルの数	1	2	3							
いすの数	6	10	14								
4 変化や対応の規則性について話し合い、2量の関係を式に表す。 ・ $2 \times \quad + 2 =$ (平行四辺形) ・ $3 \times \quad + 2 =$ (正五角形) ・ $4 \times \quad + 2 =$ (正六角形)	同じ形を選んだ児童同士での交流の時間を設定する。	児童の話し合いや発表を援助する。									
追 求 す る  30分	5 テーブルの数が15のときのいすの数を求める。 ・ $2 \times 15 + 2 = 32$ (平行四辺形) ・ $3 \times 15 + 2 = 47$ (正五角形) ・ $4 \times 15 + 2 = 62$ (正六角形)	対応の規則性に着目して、とを使った式に表すことができる。 支 テーブルの数が1増えたときの増えたいすの部分を色分けし、テーブルが1増えるといすはいくつ増えるかを意識させる。	個別指導を行う。								
				1辺に並べるいすの数を変えるとどうなるかを投げかけ、次時につなぐ。	とで表された式を使って、テーブルの数が分かっている場合のいすの数を求めることができる。 支 実際の操作で求めたいすの数と、テーブルの数を式に当てはめて計算で求めたいすの数が一致することを確認させる。						
高 ま る  5分											

